

2023年1月4日

株式会社遊楽に対する 「むさしのサステナビリティ・フレームワーク・ローン」の取扱いについて ～第1号案件としてサステナビリティ経営を後押し～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、2022年12月30日（金）、株式会社遊楽（代表取締役社長 密山 暉和、さいたま市浦和区）に対し、「むさしのサステナビリティ・フレームワーク・ローン」の取扱いを行いましたので、お知らせします。

むさしのサステナビリティ・フレームワーク・ローンは、お客さまがSDGsやESGに関連する事業挑戦目標であるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）を設定し、その達成状況に応じ、融資利率が変動する仕組みの融資商品で、本件はその第1号案件となります。

株式会社遊楽はガーデングループとして、遊技場を主軸に飲食やアミューズメント等多方面への事業展開を行うなか、寄付型私募債の発行など、地域経済および社会の持続可能な発展に貢献する取組みに注力しております。

今般のサステナビリティ・フレームワーク・ローンはこうした取組みの一環であり、SPTsとして年間電力使用量削減率に関する数値目標を設定し、ガーデングループ全体でより効率的なエネルギー利用を目指していくものです。

当行では今後も、地元企業のサステナビリティ経営を積極的に支援してまいります。

《概要》

企業名	株式会社 遊楽
代表者	代表取締役社長 密山 暉和
所在地	さいたま市浦和区高砂2-8-16
業 種 お よ び 事 業 内 容	遊技場経営
	1993年設立。ガーデングループとして遊技場を運営するほか、飲食やアミューズメントなど多方面への事業展開を行っている。
契約締結日	2022年12月30日（金）
挑戦項目（SPTs）	年間電力使用量削減率
第三者評価機関	株式会社ぶぎん地域経済研究所

以上

報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 法人営業グループ 沼尻 一・岡村 尚典
TEL (048) 641 - 6111 (代)

【別紙】 むさしのサステナビリティ・フレームワーク・ローンの概要

対 象	「サステナビリティ・リンク・ローン原則」や「環境省サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に整合し、当行の定める基準に沿ったSPTsを設定し、株式会社ぶぎん地域経済研究所から評価を受けることができる法人
資 金 使 途	運転資金・設備資金 (グリーンやソーシャルに関する事業に限定しません)
ご 融 資 金 額	5千万円以上
ご 融 資 期 間	運転資金：3年以上7年以内 設備資金：3年以上20年以内
適 用 金 利	当行所定利率(変動金利) * SPTsの達成状況に応じ、金利優遇をいたします
挑 戦 目 標 (SPTs)	以下の2項目のいずれかでSDGs・ESG戦略における「野心的な」挑戦目標を設定 ①エネルギー効率 ②温室効果ガス(GHG)排出量
レポーティング	原則1年毎にSPTsに関する達成状況をご報告いただきます

